

令和6年度 広島県青少年の インターネット利用状況調査【結果】

令和6年9月
広島県 環境県民局 県民活動課

目次

調査概要	2
1 青少年のインターネット利用状況	
(1) インターネット利用率・利用機器	3
(2) 機器の専用・共用	4
(3) 利用内容	5
(4) 利用時間	6
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	7
3 子供のインターネット利用に関する保護者の取組	8
4 インターネット利用に関する啓発や学習の経験	
(1) 青少年	9
(2) 保護者	10
5 フィルタリングについて	11

調査概要

1 調査目的

青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに向けた取組の参考にする。（「青少年」とは、満10歳から満17歳にある者をさし、その保護者を「保護者」と表記する。）

2 調査期間

令和6年5月31日～6月1日

3 調査方法

インターネットパネル※を利用してのアンケート調査

※ 調査会社の登録会員に対して、WEB画面上のアンケートなどのリサーチを実施する手法

4 調査対象

満10歳から満17歳までの青少年の保護者（483人）

※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

区分	全体	小学生	中学生	高校生
男	240人	80人	80人	80人
女	243人	80人	81人	82人
計	483人	160人	161人	162人

5 その他

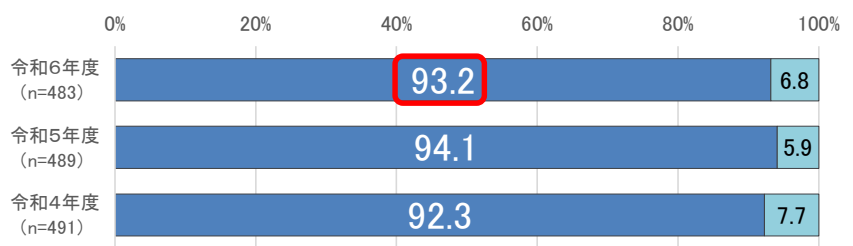
- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) グラフ、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）を表している。
- (5) その他や自由意見については、読みやすさ等を考慮し、文章の表現を一部変更し掲載している。

1 (1) 青少年のインターネット利用状況（インターネット利用率、利用機器）

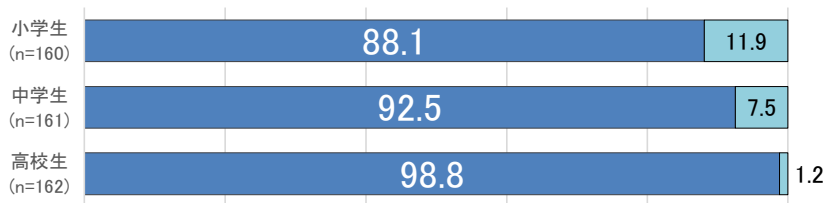
- ▶ 青少年の93.2%がインターネットを利用していると回答。[令和5年度：94.1%、▲0.9ポイント]
- ▶ 学校種別では、小学生の88.1%、中学生の92.5%、高校生の98.8%がインターネットを利用していると回答した。
- ▶ インターネットを利用する機器は、「スマートフォン」との回答が73.3%と最も高く、「自宅用のパソコンやタブレット等」（36.0%）、「学校から配付・指定されたパソコンやタブレット等」（35.4%）が上位。
- ▶ インターネット利用機器のうちスマートフォン利用率は、小学生(47.5%)、中学生(74.5%)、高校生（97.5%）と学校種が上がるにつれ高くなっている。

※インターネット利用率、利用機器は、保護者が子供の状況について回答したものの

○インターネット利用率



【学校種別（令和6年度）】

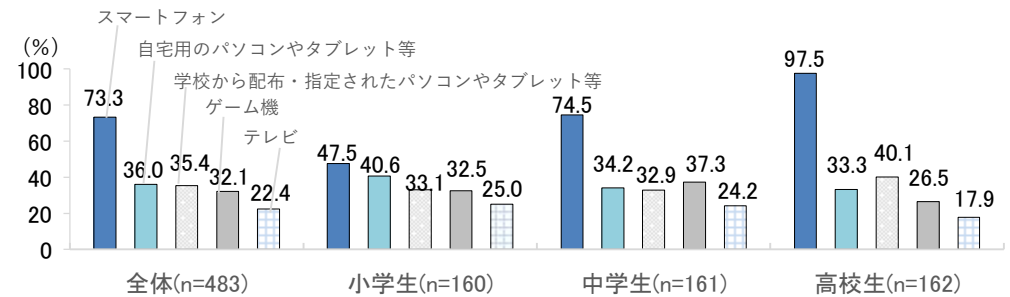


■ インターネットを利用している □ インターネットを利用していない

○インターネット利用機器

区分	令和6年度 (n=483)	令和5年度 (n=489)	令和4年度 (n=491)
スマートフォン	73.3	71.6	69.2
スマートフォン	60.9	58.5	59.3
いわゆる格安スマートフォン	11.0	11.9	9.0
機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン	1.4	1.2	1.0
契約していないスマートフォン	9.3	9.4	9.8
携帯電話	0.6	-	2.0
自宅用のパソコンやタブレット等	36.0	40.9	39.5
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等	35.4	36.2	31.2
ゲーム機	32.1	30.3	28.7
テレビ	22.4	21.5	19.1

【インターネット利用機器 学校種別（令和6年度）】 ※上位5位の機器



1(2) 青少年のインターネット利用状況（機器の専用・共用）

▶ 自分専用のスマートフォンでインターネットを利用する青少年の割合は59.4%となっている。

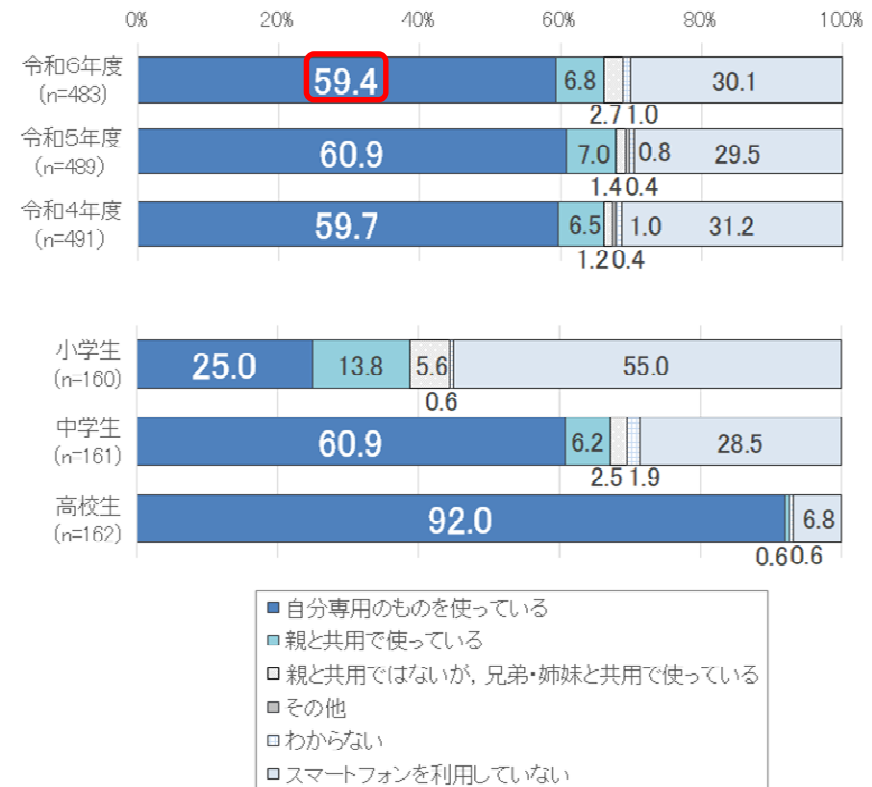
[令和5年度：60.9%、▲1.5ポイント]

▶ 学校種別では、小学生(25.0%)、中学生(60.9%)、高校生(92.0%)と学校種が上がるにつれ高くなっている。

○青少年の各機器の専用・共用状況（令和6年度）
n=483

区分	（%）				
	自分専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない
スマートフォン	59.4	6.8	2.7	-	1.0
スマートフォン	52.4	5.6	1.7	-	0.8
いわゆる格安スマートフォン	5.8	1.0	1.0	-	0.2
機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン	1.2	0.2	-	-	-
契約していないスマートフォン	6.4	1.7	2.5	0.2	-
携帯電話	1.2	-	0.4	0.2	-
自宅用のパソコンやタブレット等	14.5	16.4	3.7	0.2	-
ゲーム機	14.3	7.2	7.7	0.4	-
テレビ	0.8	17.0	0.8	-	0.6

○スマートフォンの専用・共用状況



※ 以降の「スマートフォン」については、格安スマートフォン、機能限定スマートフォン及び子供向けスマートフォンを含むものとする。
(契約していないスマートフォンは除く)

1(3) 青少年のインターネット利用状況（利用内容）

▶ インターネットを利用する内容は、「動画を見る」との回答が79.4%と最も多く、「ゲームをする」(67.1%)、「検索する」(59.1%)が上位。 [令和5年度：「動画を見る」(79.9%)、「ゲームをする」(64.1%)、「検索する」(63.7%)]

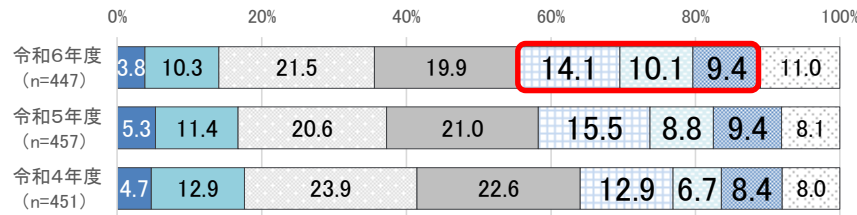
○青少年のインターネットの利用内容（いずれかの機器・スマートフォン）

		(%)												
区分		投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作記録をする	その他
いずれかの機器	【経年比較】													
	令和6年度(n=447)	53.5	28.4	59.1	26.6	51.2	79.4	11.9	23.0	67.1	7.8	47.0	17.7	6.5
	令和5年度(n=457)	54.3	29.8	63.7	24.3	53.2	79.9	9.8	26.0	64.1	7.9	47.3	16.0	3.5
	令和4年度(n=451)	53.2	30.4	61.6	26.2	52.8	80.7	6.2	21.1	64.3	5.1	49.0	17.1	7.1
	【学校種別(令和6年度)】													
	小学生(n=138)	26.1	20.3	47.1	18.8	29.7	71.7	8.7	8.7	67.4	2.9	44.9	15.2	10.1
	中学生(n=151)	54.3	22.5	53.0	19.2	50.3	76.2	11.9	23.2	67.5	4.6	35.8	14.6	4.6
高校生(n=158)	76.6	41.1	75.3	40.5	70.9	89.2	14.6	35.4	66.5	15.2	59.5	22.8	5.1	
スマートフォン	【経年比較】													
	令和6年度(n=338)	61.8	30.2	61.5	29.3	56.8	79.3	10.7	26.6	60.1	8.3	26.0	14.2	2.1
	令和5年度(n=345)	64.9	29.6	62.6	27.8	58.8	78.6	9.3	30.7	56.2	8.1	25.8	14.5	0.9
	令和4年度(n=338)	63.6	28.1	59.2	26.0	57.7	76.3	6.2	23.1	54.7	4.4	30.8	15.4	2.7
	【学校種別(令和6年度)】													
	小学生(n=72)	33.3	25.0	41.7	25.0	27.8	59.7	9.7	9.7	59.7	4.2	8.3	12.5	5.6
	中学生(n=115)	58.3	20.0	54.8	16.5	53.9	77.4	7.0	24.3	55.7	1.7	21.7	9.6	1.7
高校生(n=151)	78.1	40.4	76.2	41.1	72.8	90.1	13.9	36.4	63.6	15.2	37.7	18.5	0.7	

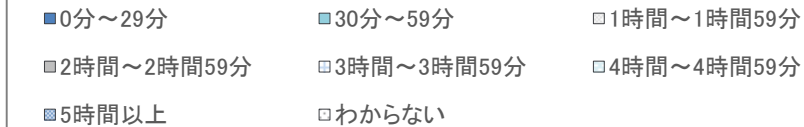
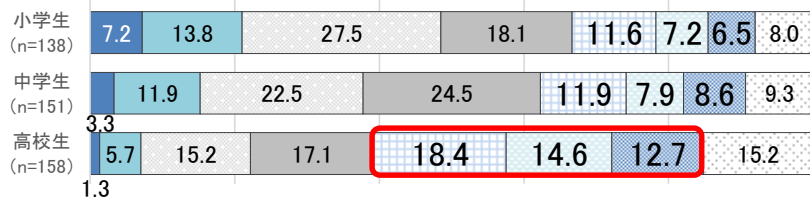
1(4) 青少年のインターネット利用状況（利用時間）

- ▶ インターネットの利用時間は、『3時間以上』の割合が33.6%。[令和5年度：33.7%、▲0.1ポイント]
- ▶ 学校種別では、『3時間以上』の割合が高校生で45.7%と最も高くなっている。
- ▶ 目的ごとの利用時間では、『2時間以上』の割合が「趣味・娯楽」で24.7%と最も高くなっている。

○機器の合計利用時間

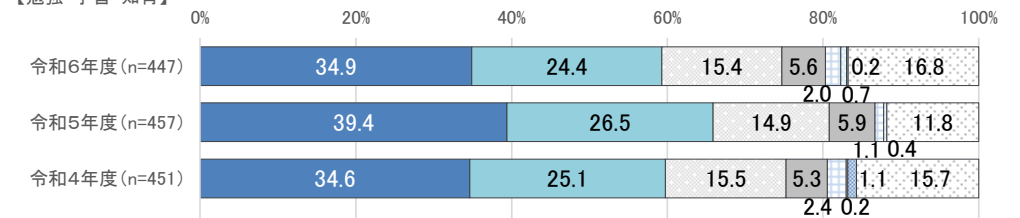


【学校種別（令和6年度）】

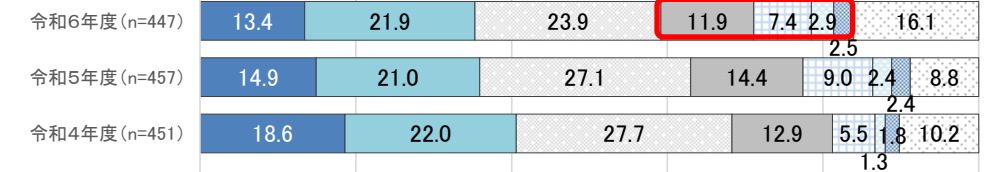


○目的別利用時間

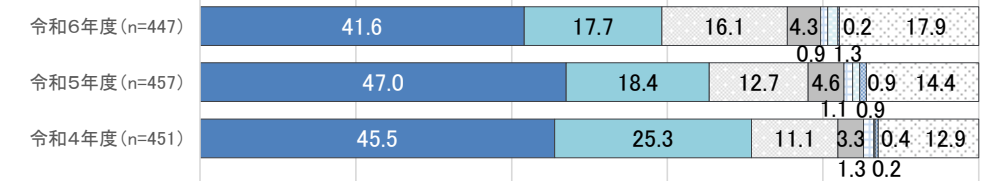
【勉強・学習・知育】



【趣味・娯楽】



【保護者・友人等とのコミュニケーション】



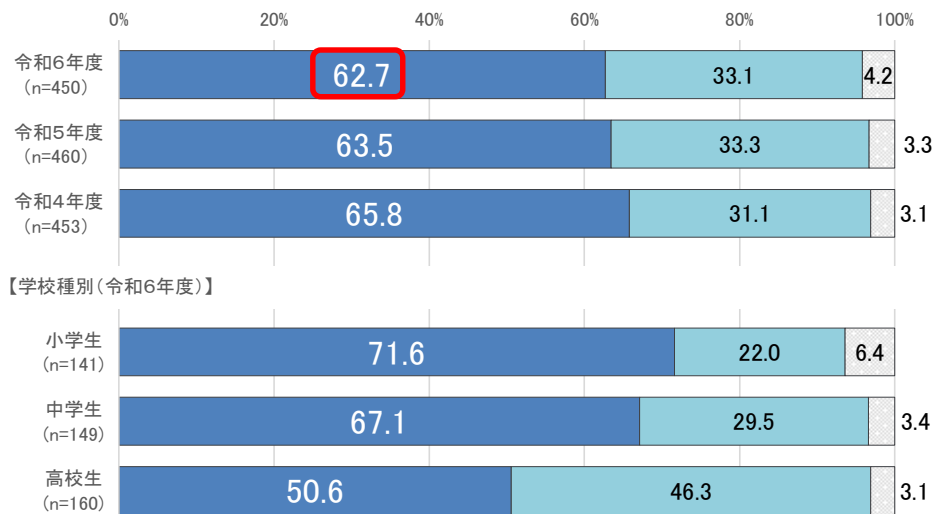
【上記以外】



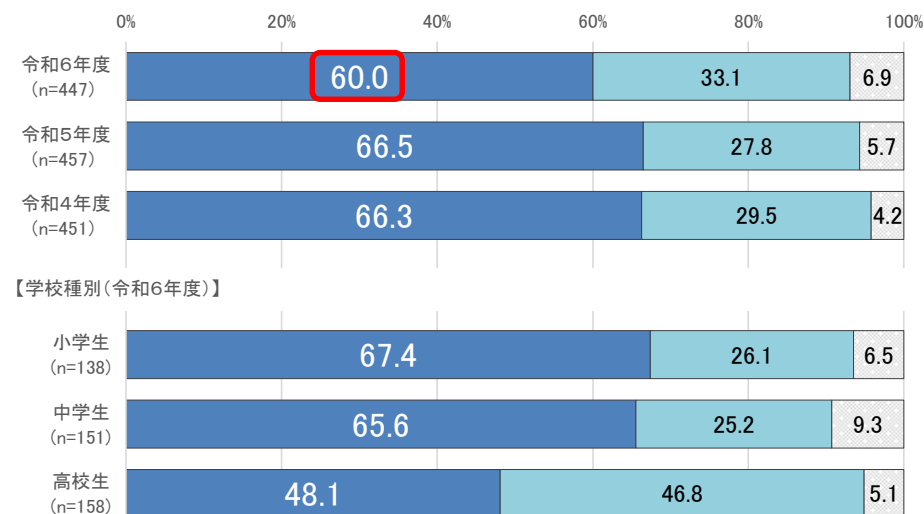
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

- ▶ 「ルールを決めている」認識について、保護者（62.7%）と青少年（60.0%）で大きな差はみられない。
[令和5年度：保護者63.5%、▲0.8ポイント、青少年66.5%、▲6.5ポイント]
- ▶ 学校種別では、学校種が上がるにつれ、保護者、青少年ともに「ルールを決めている」認識が低くなる。

○ルールの有無に関する保護者の認識



○ルールの有無に関する青少年の認識



■ルールを決めている □ルールを決めていない □わからない

3 子供のインターネット利用に関する保護者の取組

- ▶ スマートフォンを利用する青少年の保護者の77.7%が、いずれかの方法で子供のインターネット利用を管理していると回答。
[令和5年度：78.6%、▲0.9ポイント]
- ▶ 学校種別では、いずれかの方法で管理していると回答した保護者の割合は、学年種が上がるにつれ低くなっている。
- ▶ 実施している取組では、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」との回答が34.7%と最も高くなっているものの、令和5年度調査（42.0%）を7.3ポイント下回っている。
- ▶ 「フィルタリングを使っている」割合は30.5%。[令和5年度：31.1%、▲0.6ポイント]

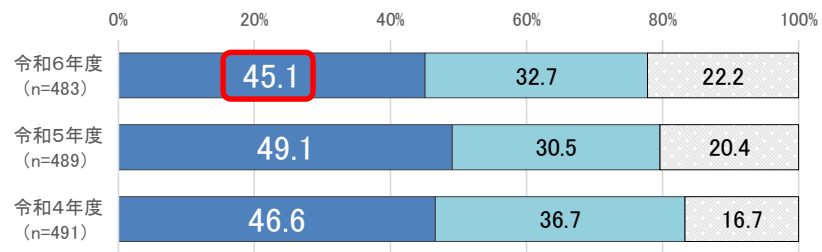
○子供のインターネット利用に関する保護者の取組（スマートフォン）

区分	管理している（計）	スマートフォン利用者における管理方法の内訳 ※複数回答可										子供のインターネット利用の管理は行っていない（%）
		距離の前（画面が見える）	利用場所を決めて使わせている	対象年齢に合わせた使用	時間帯（内容）を把握している	提供しているサービス（OS事業者含む）	機器の設定（OS時間管理）	フィルタリングを使っている	OS事業者提供コンテンツを利用している	課金管理を行っている	その他	
【経年比較】												
令和6年度 (n=354)	77.7	15.5	34.7	30.8	22.9	12.4	30.5	6.2	16.9	22.3		
令和5年度 (n=350)	78.6	18.9	42.0	29.1	20.0	12.9	31.1	8.0	18.3	21.4		
令和4年度 (n=340)	76.8	19.1	36.5	26.8	18.2	10.6	30.6	5.6	16.8	23.2		
【学校種別（令和6年度）】												
小学生 (n=76)	94.7	28.9	43.4	36.8	35.5	15.8	30.3	9.2	13.2	5.3		
中学生 (n=120)	82.5	18.3	44.2	36.7	29.2	15.8	30.8	9.2	19.2	17.5		
高校生 (n=158)	65.8	7.0	23.4	23.4	12.0	8.2	30.4	2.5	17.1	34.2		

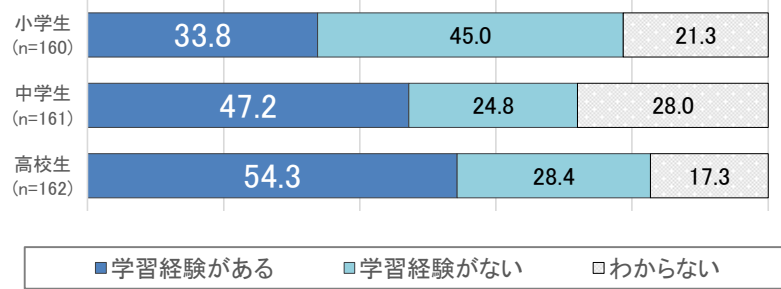
4(1) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（青少年）

- ▶ インターネット利用に関する学習経験がある青少年は、45.1%。 [令和5年度：49.1%、▲4.0ポイント]
- ▶ 学校種別では、学習経験がある青少年の割合は、学校種が上がるにつれ高くなっている。
- ▶ 啓発や学習を受けた機会では、「学校・保育所・幼稚園等」との回答が90.4%と最も高くなっている。
[令和5年度：88.8%、+1.6ポイント]

○青少年のインターネット利用に関する学習経験の有無



【学校種別(令和6年度)】



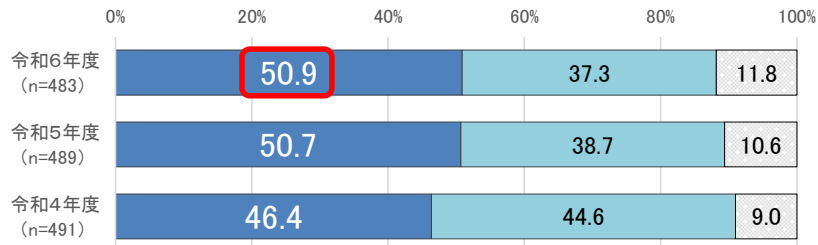
○青少年のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	学校・保育所・幼稚園等	親(保護者)	兄弟・姉妹	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友達	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	その他
【経年比較】									
令和6年度 (n=218)	90.4	40.4	6.9	5.5	2.8	8.3	10.1	10.1	-
令和5年度 (n=240)	88.8	37.1	4.6	4.6	1.3	11.7	8.3	8.8	0.4
令和4年度 (n=229)	87.8	41.5	3.1	5.7	2.2	7.0	9.2	11.8	-
【学校種別(令和6年度)】									
小学生 (n=54)	79.6	44.4	9.3	5.6	3.7	5.6	7.4	13.0	-
中学生 (n=76)	94.7	40.8	5.3	1.3	2.6	6.6	9.2	6.6	-
高校生 (n=88)	93.2	37.5	6.8	9.1	2.3	11.4	12.5	11.4	-

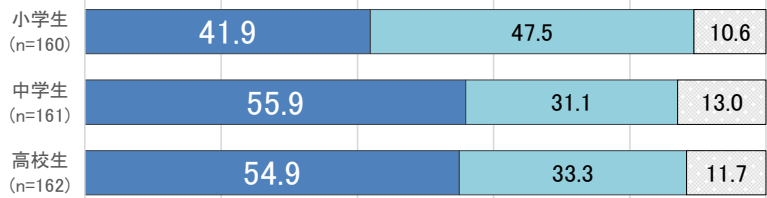
4(2) インターネット利用に関する啓発や学習の経験（保護者）

- ▶ インターネット利用に関する学習経験がある保護者は、50.9%。[令和5年度：50.7%、+0.2ポイント]
- ▶ 啓発や学習を受けた機会では、「学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」との回答が51.2%と最も多い。[令和5年度：52.8%、▲1.6ポイント]

○保護者自身のインターネット利用に関する学習経験の有無



【学校種別（令和6年度）】



■ 学習経験がある □ 学習経験がない □ わからない

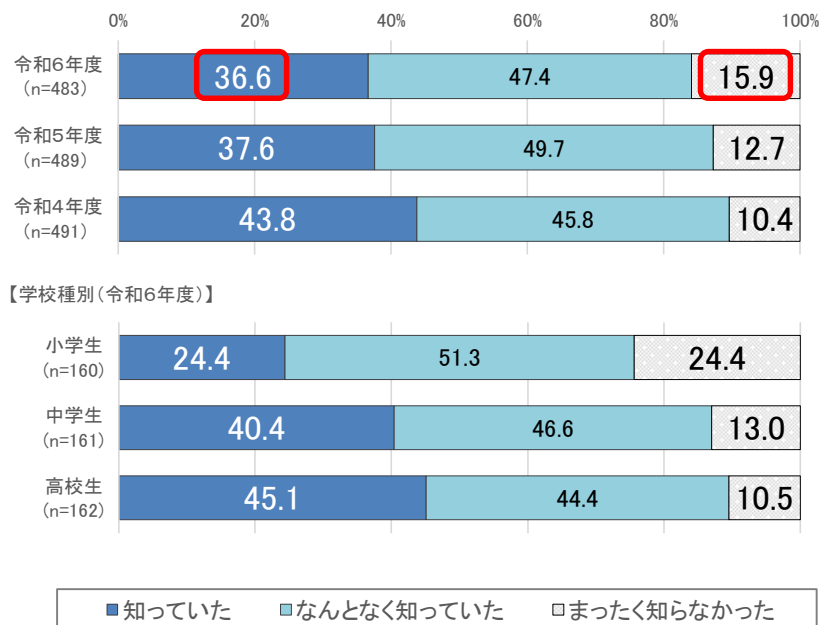
○保護者自身のインターネット利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	PTAの会合など	学校や保育所・幼稚園等の保護者会や啓発資料など	国・地方公共団体や民間団体が行う講座	病院（産科、小児科等）	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	友人	保護者同士の会話	テレビや本・パンフレットなど	インターネット	保護者自身が生徒・学生の時に、学校等で説明を受けた	その他
【経年比較】												
令和6年度 (n=246)	51.2	39.4	10.2	2.0	6.9	8.5	8.9	15.9	24.8	30.5	7.7	0.4
令和5年度 (n=248)	52.8	39.5	5.6	1.6	3.6	6.5	9.3	18.1	25.8	31.0	9.7	1.2
令和4年度 (n=228)	58.8	46.5	4.4	0.9	7.9	5.7	8.8	19.3	30.7	35.5	7.5	0.9
【学校種別（令和6年度）】												
小学生 (n=67)	43.3	35.8	17.9	3.0	7.5	9.0	14.9	16.4	23.9	40.3	4.5	1.5
中学生 (n=90)	48.9	38.9	7.8	1.1	5.6	4.4	4.4	15.6	24.4	30.0	7.8	-
高校生 (n=89)	59.6	42.7	6.7	2.2	7.9	12.4	9.0	15.7	25.8	23.6	10.1	-

5 フィルタリングについて

- ▶ 保護者のフィルタリングの認知度について、「知っていた」36.6%、「まったく知らなかった」15.9%。
[令和5年度：「知っていた」37.6%、▲1.0ポイント、「まったく知らなかった」12.7%、+3.2ポイント]
- ▶ 保護者が、子供の使用するスマートフォンにフィルタリングを利用しない理由は、「インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから」との回答が47.0%と最も多い。[令和5年度：48.9%、▲1.9ポイント]

○フィルタリングの認知度



○子供の使用するスマートフォンにフィルタリングを利用しない理由

区分	インターネットやスマートフォンを信用しているから	インターネットやスマートフォンを管理できると思うから	子供の適切なインターネット利用を管理できると思うから	フィルタリングを利用しないから	子供が利用しているアプリが制限されていないから	フィルタリングの設定やパスワードがわからないから	フィルタリングの必要性がわからないから	子供に頼まれたから	や迂回する方法があり、効果がでないから	フィルタリングが何か知らないから	フィルタリングの利用にお金がかかると思ったから	フィルタリングの利用にお金がかかると思ったから	購入時に販売業者から説明を受けなかったから	その他の理由でフィルタリングが不要だと思うから
【経年比較】														
令和6年度 (n=266)	47.0	25.2	12.4	9.8	5.3	3.0	10.5	7.5	1.9	3.0	2.6			
令和5年度 (n=262)	48.9	25.6	17.9	13.0	5.0	3.1	8.8	4.2	2.7	4.6	0.4			
令和4年度 (n=267)	53.6	28.5	14.2	11.2	7.1	3.4	8.6	5.6	3.0	1.9	1.5			
【学校種別(令和6年度)】														
小学生 (n=67)	34.3	22.4	10.4	13.4	11.9	4.5	6.0	9.0	1.5	4.5	1.5			
中学生 (n=90)	41.1	30.0	14.4	10.0	4.4	4.4	8.9	12.2	2.2	3.3	1.1			
高校生 (n=109)	59.6	22.9	11.9	7.3	1.8	0.9	14.7	2.8	1.8	1.8	4.6			

※ 本項目の「スマートフォン」には「契約していないスマートフォン」も含む